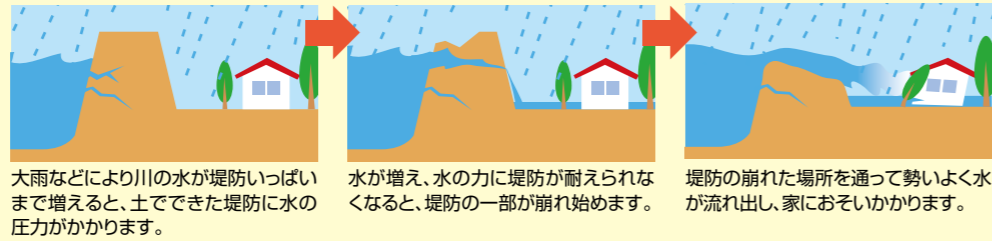


洪水の起こり方

河川堤防から水があふれたり決壊して起こる洪水



大雨が続き、川に排水できず排水路などがあふれて起こる洪水

都市型水害 近年、都市部では都市化によって雨水がしみ込みにくくなり、局地的に強い雨が降ると、短時間のうちに水量が増えて水路があふれたり、地下道の浸水被害などが発生しています。



どうやって避難するの？

- 避難経路の確認**
自宅の近くにどんな避難場所があるのか確認してください。家族みんなで避難場所まで歩いて、安全で避難しやすい道を探してみましょう。また、避難にかかる時間を把握しておきましょう。
- 浸水したら車での避難は控えましょう！**
車での避難は道路が浸水する前に早めに開始しましょう。道路が浸水すると車のエンジンがとまりますので、できる限り歩いて避難しましょう。
- 非常持ち出し品の準備**
避難のときに持ち出す荷物は必要最小限にし、場所を決めて持ち出し袋にまとめておきましょう。また、内容を定期的に確認しておきましょう。
- 高齢者や障がい者の方などの避難に協力しましょう！**
避難するときは、隣近所に声をかけて複数で避難しましょう。また、高齢者や身体の不自由な方、子どもなどの避難に協力しましょう。
- 自主的な避難準備**
雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ・テレビなどからの最新の気象情報等に注意しましょう。また、そのときにいる場所の周辺で危険を感じたら、自主的に避難準備を始めましょう。
- 靴は運動靴、動きやすい格好で避難しましょう！**
浸水した道路は、足元が見えないため非常に危険です。手をつないで、先頭の方は長い棒などで確認しながら進みましょう。
- 避難の呼びかけに注意を**
地区のみなさんに避難が必要と判断したときは、広報車・防災行政無線等で避難の呼びかけを行います。
- 万が一、逃げ遅れたら**
避難できないと感じたら無理をせず、自宅の2階や近所の高台へ避難して救助を待ちましょう。

雨量の目安 雨の強さや量とそのイメージ

やや強い雨 1時間に10～20mm未満 ザーザーと降る	強い雨 1時間に20～30mm未満 どしゃ降り	激しい雨 1時間に30～50mm未満 バケツをひっくり返したように降る	非常に激しい雨 1時間に50～80mm未満 滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	猛烈な雨* 1時間に80mm以上 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
--	--------------------------------------	--	---	--

*猛烈な雨を観測した場合、気象庁より「記録的短時間大雨情報」が発表されることがあります。(発表の基準はP14を参照)

警戒レベル

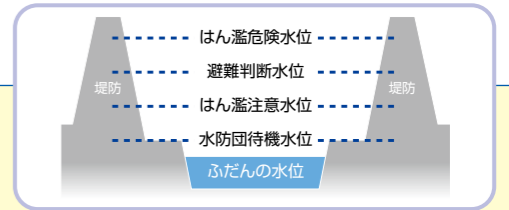
大雨や洪水等が予想される場合には、自治体や気象庁等から発表される防災情報をもとに住民が自らの判断で最善の避難行動を取ることが重要です。平成31年3月から運用が始まった、危険度の高まりに応じて段階的に発表される「警戒レベル」や防災気象情報をもとに、「逃げ遅れゼロ」「早めの避難」を心がけましょう。

警戒レベル	行動を促す情報	町民が取るべき避難行動	防災気象情報
5	災害発生情報(できる範囲で発表)	命を守る最善の行動	はん濫発生情報 大雨特別警報 など
4	避難勧告 避難指示(緊急)	直ちに避難 全員避難	はん濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
3	避難準備・高齢者等避難開始	高齢者などは避難 他の住民は準備	はん濫警戒情報 洪水警報、大雨警報 など
2	注意報	ハザードマップなどで避難行動を確認	これは、 町民のみなさんが 自主的に避難行動を とるために参考と する情報です。
1	早期注意情報	心構えを高める	

※各種情報は、警戒レベルの順番で発表されるとは限りません。状況が急変する場合がありますのでご注意ください。

河川(観測所)の水位について

避難を開始するひとつの目安として、河川の水位に注意しましょう。河川の観測所の水位は、避難状況に応じて下表のような基準値が定められています。



地域名	観測所	水防団待機水位(通報水位)	はん濫注意水位(警戒水位)	避難判断水位(特別警戒水位)	はん濫危険水位(危険水位)	堤防高
新発田市岡田	岡田	13.80m	14.30m	15.30m	16.18m	17.37m
新発田市小松	小松	11.00m	11.94m	13.01m	13.43m	15.60m

気象庁の大雨及び洪水注意報・警報基準

大雨	特別警報	警報	注意報	洪水	警報	注意報
	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。	大雨によって、重大な被害が起こるおそれがある場合。	大雨による被害が起こるおそれがある場合。		洪水によって、重大な被害が起こるおそれがある場合。	洪水によって、災害が起こるおそれがある場合。
記録的短時間大雨情報	大雨警報発令時に現在の雨が数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測あるいは解析した場合。(1時間雨量100mm以上)					

この雨大丈夫?大雨・洪水警報等の危険度分布(気象庁ホームページ)

気象庁では、警報等が発表された市町村等のうち、実際に水害発生の危険度が高まっている場所を危険度分布で色分けして表示します。危険度の高まりが予測される場合や、町が発令する避難情報に留意し、早めの避難行動をとってください。

高危険度	極めて危険(警戒レベル5相当)	大雨警報(浸水害)の危険度分布	洪水警報の危険度分布
	非常に危険(警戒レベル4相当)		
低危険度	警戒(警戒レベル3相当)	大雨警報 危険度分布	洪水警報 危険度分布
	注意(警戒レベル2相当)		
	今後の情報等に留意		

濃い赤は、災害がすでに発生していてもおかしくない、極めて危険な状況です。災害の発生する前に随時発表される情報を確認して、早めに行動し災害から身を守ってください。

洪水ハザードマップ

- 凡例
- 避難場所兼避難所
 - 避難所
 - 避難所 (洪水時利用不可)
 - 福祉避難所
 - 病院・診療所
 - 消防署
 - 警察署
 - 防災行政無線
 - 主要幹線道路
 - 橋
 - 市町界

